

地上デジタルテレビ放送の番組制作
TV Program Production for Digital Terrestrial Broadcasting

対象国の条件：地上デジタルTV放送日本方式（ISDB-T）採用国および採用検討国等

研修コース番号：201984582-J002

案件番号：201984582

主分野課題：情報通信技術（ICTの利活用を含む）/放送

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

本研修は地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）採用国及び採用検討国あるいはコンテンツの支援を必要としている国の番組制作に携わるプロデューサー及びディレクター等を対象とし、データ放送等のデジタル放送技術を活用した番組企画能力を向上させることを目的とする。カリキュラムはデジタル理論だけでなく、実例を用いた番組企画の実習まで体系的に構成されている。

目標/成果		対象組織/人材	
<p>【案件目標】 データ放送・多言語放送等、地上デジタルテレビ放送の利点・特徴が共有され、これらを活用したテレビ番組企画・制作の改善についての取り組み方針が示される</p> <p>【成果】 1. データ放送等地上デジタルテレビ放送の基礎知識並びに活用方法を習得し、デジタル放送によるコンテンツに関する権利やコンテンツ保護に関する理解を深める。 2. デジタル放送技術の特徴を活かした番組制作手法を理解する。 3. 各国におけるデジタル技術を活かした番組制作の課題を整理し、デジタル放送技術を活かした番組企画案を作成する。</p>		<p>【対象組織】 途上国の放送局および政府関連組織</p> <p>【対象人材】 1. 放送事業者、番組制作事業者もしくは放送を主管している政府機関等において番組の構成、編集に携わる者（例：プロデューサー、ディレクター、ジャーナリスト等） 2. 企画、構成、脚本などのテレビ番組制作経験または番組制作の基本的な知識を有しており、研修後も当該分野での職務遂行が期待される者。</p>	
内 容		本邦研修期間	2019/7～2019/8
<p>【事前活動】 自国のデジタルコンテンツ制作現状及び所属組織についてのカントリーレポート作成。</p> <p>【本邦研修】 以下の内容の講義、実習、視察、討論を行う。 1. データの放送の基礎・技術及び放送番組コンテンツに関する権利・保護 2. 地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）の特徴及び海外展開 3. 番組制作技術、デジタル放送技術を活かした番組制作・企画手法 4. 放送局・スタジオ及び放送関連施設等視察 5. 番組企画案の作成・発表</p> <p>【事後活動】 番組企画案の組織内共有</p> <p>※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創」（Knowledge Co-Creation）の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。</p>		担当課題部	社会基盤・平和構築部
		所管国内機関	JICA東京（経済環境）
		関係省庁	総務省
		実施年度	2019～2021
主要協力機関	調整中		
特記事項及びホームページ			